



## 2024年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年5月15日

上場会社名 株式会社Geolocation Technology 上場取引所 福  
コード番号 4018 URL <https://www.geolocation.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 敬介  
問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 山崎 陽子 TEL 055 (916) 0294  
四半期報告書提出予定日 2024年5月15日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年6月期第3四半期の業績（2023年7月1日～2024年3月31日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期第3四半期	550	△7.8	54	△51.9	54	△51.5	19	△74.8
2023年6月期第3四半期	597	2.8	112	△31.3	113	△26.3	76	△27.1

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年6月期第3四半期	12.47	12.25
2023年6月期第3四半期	50.54	48.33

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年6月期第3四半期	700	571	81.0
2023年6月期	703	559	78.8

(参考) 自己資本 2024年6月期第3四半期 567百万円 2023年6月期 554百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年6月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2024年6月期	—	0.00	—	—	—
2024年6月期（予想）	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年6月期の業績予想（2023年7月1日～2024年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	724	△5.5	71	△38.2	72	△38.2	31	△17.4	20.24

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 業績予想の修正については、2024年4月17日に公表いたしました「特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年6月期3Q	1,556,000株	2023年6月期	1,548,800株
② 期末自己株式数	2024年6月期3Q	6株	2023年6月期	6株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年6月期3Q	1,549,399株	2023年6月期3Q	1,516,612株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第3四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(会計方針の変更) .....	6
(追加情報) .....	6
(セグメント情報等) .....	7
(重要な後発事象) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における我が国経済は、昨年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行後、国内外の人流が活発化し、国内景気は回復傾向の動きに向かいつつあります。一方で、ウクライナ紛争の長期化、中東情勢の緊迫化、中国経済の悪化懸念、世界的な原材料価格の高騰や円安といった経済活動に影響を与える要因が払拭できず、景気の先行きは不透明な状況が続いています。

このような状況の中、当社は「独自の技術とノウハウを開発し、地域社会にとって価値のある新しいインターネットサービスを提供する」という企業理念のもと、インターネットを通じて「地域社会の活性化」を行うことを使命とし、日々、事業活動を行っています。

当第3四半期累計期間において、当社が保有する「SURFPOINT™」データベース及び「SURFPOINT™」をweb上で利用できる「どこどこJP」の機能強化・価値向上を中心に取り組んでいます。また、コンテンツ管理マネージャ(CMS)のトップシェアであるWordPressに、IP Geolocationが活用できるプラグインの提供、IR動画メディア「IRTV」や最新テクノロジーやデジタル社会に関連するニュースを扱うテクノロジーメディアサイト「GIZMODO」での動画公開、各種セミナー開催など、会社やサービスの認知向上に努めております。

これら機能追加と認知向上策と並行し、自治体向けDXメニューや既存・新規顧客向けにポストCookie対策としての解析支援サービス、セールスマーケティング支援メニューを整備し、積極的に営業を推進しております。今後も引き続き、売上高増と技術力や企業価値の向上に努めて参ります。

これらの結果、当第3四半期累計期間の売上高は550,443千円(前年同四半期比7.8%減)、営業利益は54,197千円(前年同四半期比51.9%減)、経常利益は54,904千円(前年同四半期比51.5%減)、四半期純利益は19,324千円(前年同四半期比74.8%減)となりました。なお、投資有価証券のうち、実質価額が著しく低下したものについて減損処理を行い、投資有価証券評価損18,450千円を特別損失に計上しております。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

#### (IP Geolocation事業)

IPアドレスに様々な情報を紐づけたデータベースの利用サービスである「SURFPOINT™」及び、Webサイトを訪問した企業のリスト化や経路分析などの本格的なウェブ解析を簡単に行うことのできる「らくらくログ解析」は、既存の取引先に安定的な継続利用をいただいております。この2つのサービスの売上高は堅調に推移しております。12月には「SURFPOINT™」において、企業情報やWifiスポット等の情報量を増やした結果、全体の容量は14万件から18.3万件に増加しており、当四半期においては、既存の金融関連案件の追加受注を3件確定させております。第4四半期においてはこれら受注案件の売上貢献が見込まれ、引き続き、金融関連サービスやメディア関連企業へのアプローチを強化して参ります。

「SURFPOINT™」をWeb上で利用できる「どこどこJP」は、前第3四半期累計期間と比較して解約数は同時期を大きく下回り、売上高につきましては前第3四半期累計期間と比較して7%ほど上回っております。これは、今期のはじめから行われている価格改定とGA4設定やWebサイトアクセス解析レポートなどの作成支援サービスの効果が表れてきており、今後も引き続き積極的な受注活動を推進いたします。また、前事業年度より提供を開始している、自社サイトへアクセスした企業の情報が管理画面で表示できる「BtoBアクセス企業レポート」に加えて、Wifiアクセスレポート機能とChatGPTによる分析機能を付加したこと、2023年8月にリリースした無料プランにつきましては、お申込みいただいたお客様の約12%が有償プランに移行頂いたことが売上高の増加と解約数の減少に貢献致しました。今後も引き続き有力販売代理店への営業支援、新規顧客開拓に積極的に取り組むと共に、webサイトの作成で多く利用されているコンテンツ管理マネージャ(CMS)のWordPressにプラグイン機能を提供するなど、更なる機能追加を積極的に行うことでサービスの品質向上、顧客満足に努めて参ります。

インターネットユーザーのIPアドレスから位置情報や気象情報を判定し、それらの情報を活用するターゲティング広告配信サービス「どこどこad」は、前第3四半期期間に売上に貢献した大型案件の獲得に至らず、予算を下回りました。Webマーケティングサポートやシティプロモーション支援といった「web制作・各種受託開発」では、当第3四半期会計期間中に予定されていた各種アプリケーション開発等が滞りなく納品・検収されました。しかしながら、第3四半期会計期間の「web制作・各種受託開発」に関する売上予算を達成するための案件獲得ができず予算は未達となりました。

これらの結果、当第3四半期累計期間における同事業の売上高は532,886千円(前年同四半期比2.3%減)、セグメント利益は37,952千円(前年同四半期比39.6%減)となりました。

#### (IPアドレス移転事業)

予算で計画していた案件の仲介ができたことにより、当第3四半期累計期間における同事業の売上高は17,557千円(前年同四半期比66.0%減)、セグメント利益は16,245千円(前年同四半期比67.3%減)となりました。

なお、売上高及びセグメント利益が前年同四半期比で減少しておりますが、これは予算どおりの結果となっております。

ります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は前事業年度末と比較して21,169千円増加し、676,803千円となりました。これは主に、売掛金が19,373千円、現金及び預金が2,704千円増加したことによるものであります。

固定資産は前事業年度末と比較して23,802千円減少し、23,931千円となりました。これは主に、投資有価証券が18,450千円、長期前払費用が4,122千円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、前事業年度末と比較して2,633千円減少し、700,734千円となりました。

(負債)

流動負債は前事業年度末と比較して14,733千円減少し、126,567千円となりました。これは主に、賞与引当金が7,018千円、未払金が3,679千円増加した一方、未払法人税等が12,536千円、前受金が10,224千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、前事業年度末と比較して14,733千円減少し、128,907千円となりました。

(純資産)

純資産合計は前事業年度末と比較して12,100千円増加し、571,827千円となりました。これは主に、四半期純利益の計上等により利益剰余金が11,580千円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年6月期の業績予想につきましては、2023年8月12日に公表した業績予想を修正しております。詳細につきましては、2024年4月17日に公表いたしました「特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年6月30日)	当第3四半期会計期間 (2024年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	557,409	560,114
売掛金	70,205	89,579
貯蔵品	123	38
前払費用	25,735	24,891
その他	2,256	2,501
貸倒引当金	△97	△322
流動資産合計	655,633	676,803
固定資産		
有形固定資産(純額)	3,541	3,263
無形固定資産	11,497	9,213
投資その他の資産	32,696	11,454
固定資産合計	47,734	23,931
資産合計	703,368	700,734
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,376	2,258
未払費用	34,615	34,795
未払法人税等	15,366	2,830
前受金	49,447	39,222
賞与引当金	—	7,018
その他	39,493	40,442
流動負債合計	141,300	126,567
固定負債		
その他	2,340	2,340
固定負債合計	2,340	2,340
負債合計	143,640	128,907
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	229,186	229,840
資本剰余金	220,686	221,340
利益剰余金	104,608	116,188
自己株式	△8	△8
株主資本合計	554,473	567,361
新株予約権	5,254	4,466
純資産合計	559,727	571,827
負債純資産合計	703,368	700,734

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)
売上高	597,300	550,443
売上原価	203,436	214,311
売上総利益	393,864	336,132
販売費及び一般管理費	281,288	281,934
営業利益	112,576	54,197
営業外収益		
受取利息	6	5
助成金収入	285	—
講演謝金	293	403
受取手数料	—	274
その他	3	23
営業外収益合計	587	707
経常利益	113,163	54,904
特別利益		
新株予約権戻入益	—	525
特別利益合計	—	525
特別損失		
投資有価証券評価損	—	18,450
特別損失合計	—	18,450
税引前四半期純利益	113,163	36,980
法人税、住民税及び事業税	36,753	18,987
法人税等調整額	△237	△1,331
法人税等合計	36,515	17,655
四半期純利益	76,648	19,324

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

前事業年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した、新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する仮定について、重要な変更はありません。



(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期損益計算書 計上額
	IP Geolocation 事業	IPアドレス 移転事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	545,710	51,590	597,300	—	597,300
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	545,710	51,590	597,300	—	597,300
セグメント利益	62,854	49,721	112,576	—	112,576

(注) セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期累計期間(自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期損益計算書 計上額
	IP Geolocation 事業	IPアドレス 移転事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	532,886	17,557	550,443	—	550,443
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	532,886	17,557	550,443	—	550,443
セグメント利益	37,952	16,245	54,197	—	54,197

(注) セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。